



手話サークルはまゆうの会

手話サークルはまゆうの会は、昭和54年に産声を上げ、手話の学習を通じて聴覚障がい者の人たちとの交流を図り、相互理解を深めることを目指しています。

活動日：主に毎週木曜日

昼の部：午後1時30分～3時 むつみ荘

夜の部：午後7時～9時 福祉センター

① 手話サークルはまゆうの会
会長 坂本文利 ☎2310349

「はまゆうの会」では、手話が聴覚障がい者との心の架け橋として普及すること、手話サークルが地域に根差した活動として継続していくことを願い、年齢・性別問わず、幅広い世代の会員が精力的に活動しています。

9月17日(木)には「はまゆうの会ウェルカム見学会」、10月11日(日)には今年で30回の節目を迎える「手話のつどい」を実施し、一般の参加者を交えて「聞こえない人も聞こえる人も幸せに暮らせるまちづくり」を目的とした交流会を行います。参加者絶賛募集中です。

手話に興味のある人、誰かの役に立ちたい人、いつでも入会可能です。この機会に、手話について学んでみませんか。

より多くの人にRUC POINTを利用してもらうことで、地域活動などに参加する利用者のさらなる増加を図るため、広報うわじまに毎月掲載するクイズの正解者にRUC POINTを進呈します。

アプリのインストールはこちら



RUC POINTクイズ

正解者の中から抽選で10人に1,000ポイント、50人に300ポイントをプレゼント

Q：宇和島城の天守は、江戸時代から姿を残す「現存十二天守」の1つとして知られ、国の重要文化財に指定されています。現在の天守を再建（改修）し完成させた宇和島藩の第2代藩主は誰でしょうか。

- ▶ 伊達宗紀 (回答番号：260901)
- ▶ 伊達宗利 (回答番号：260902)
- ▶ 伊達秀宗 (回答番号：260903)

回答方法はこちら



ID：0114048



① 9月20日(日)まで ② デジタル推進課デジタル推進係 ☎49-7039

先月のクイズの答え：島津家 (回答番号：260802)

「さつま」の名前の由来は、茶碗のご飯の形が薩摩藩・島津家の家紋に似ているという説があります。栄養価が高く、夏場にサラサラと食べられる定番料理として古くから親しまれています。